

第3回 日本漢字能力検定 試験問題

氏名

[不許複製]

準2級 (G)

解答には、「常用漢字表」に示された漢字の字体、読みを使用すること。旧字体での解答は認めない。

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで記せ。(30) 1×30

- 1 社会の永続的な安寧を願う。
2 広告媒体の多様化が著しい。
3 退路を断たれ苦渋の決断を迫られた。
4 公募展の彫塑の部で入選した。
5 扶養する家族が徐々に増えた。
6 年々、作物の収量が遞減する。
7 考古学の泰斗として発言力がある。
8 金権政治の横行に義憤を覚える。
9 北の海を巨鯨が悠々と遊泳していた。
10 海外の学術論文の逐語訳を掲載する。
11 警備保障会社で制服を貸与される。
12 秀逸な作品が目白押しだった。
13 一抹の不安をぬぐいきれない。
14 里山の荒廃に歯止めがかからない。
15 アルバムを開いて往時を懐古する。
16 壮快なマーチに乗って行進する。
17 将来に禍根を残しかねなかった。
18 会議中に抗しがたい睡魔に襲われた。
19 灯台が船舶の安全な航行に寄与する。
20 若いころは奔放な日々を送っていた。
21 奇跡の薬効と銘打って売り出された。
22 ご来臨賜り謹んで御礼申し上げます。
23 雨は宵のうちにあがるように見えた。
24 ここまで来たら後戻りできない。
25 湖に外来種の藻が繁茂する。
26 大根がおいしく漬かっている。
27 民は常に困窮していた。
28 一般向けの軟らかい内容の本だった。
29 たいの尾頭付きで娘の合格を祝った。
30 神妙な面持ちで話に耳を傾けている。

(二) 次の漢字の部首を記せ。(10) 1×10

〈例〉菜 門

- 1 瘡
2 昆
3 唇
4 版
5 虜
6 舞
7 廷
8 叙
9 畝
10 玄

(三) 熟語の構成のしかたには次のようなものがある。(20) 2×10

- ア 同じような意味の漢字を重ねたもの (岩石)
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの (高低)
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの (洋画)
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの (着席)
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの (非常)

次の熟語は右のア～オのどれにあたるか、一つ選び、記号にマークせよ。

- 1 崇仏
2 土壤
3 妄信
4 不惑
5 詐欺
6 繁閑
7 彼岸
8 早晚
9 醜態
10 殉教

(四) 次の四字熟語について、問1と問2に答えよ。(30)

問1 後の□内ひらがなを漢字にして1～10に入れ、四字熟語を完成せよ。□内のひらがなは一度だけ使い、答案用紙に一字記入せよ。(20) 2×10

- ア 1 手勝手 カ 一意 6 心
イ 暗雲低 2 キ 難 7 不落
ウ 大 3 一声 ク 夏 8 冬扇
エ 立 4 出世 ケ 無味 9 燥
オ 本末転 5 コ 千変 10 化

- え・かつ・かん・こう
しん・せん・とう・ばん
めい・ろ

問2 次の11～15の意味にあてはまるものを問1のア～コの四字熟語から一つ選び、記号にマークせよ。(10) 2×5

- 11 わき目もふらず取り組む。
12 自分の都合しか考えない。
13 おもしろみに欠けること。
14 事態が好転する兆候がみえないこと。
15 時節に合わず役に立たないものだとえ。

問題【1まじめ】

準2級

(G)

この面の設問(五)～(九)はマークシート方式ではありません。答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

氏名

Blank box for writing the name.

(五) 次の1～5の対義語、6～10の類義語を後の□の中から選び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使うこと。

対義語

類義語

- | | |
|------|-------|
| 1 個別 | 6 紛糾 |
| 2 緩慢 | 7 脅迫 |
| 3 模倣 | 8 受諾 |
| 4 疎略 | 9 猶予 |
| 5 記憶 | 10 辛抱 |

いかく・いっせい・えんき
こんらん・しょうち・じんそく
ていちよう・どくそう・にんたい
ぼうきやく

(六) 次の―線のカタカナを漢字に直せ。(20) 2×10

- 1 王妃のシヨウ画像が飾られていた。
- 2 いつもより早く起シヨウした。
- 3 周トウな計画を立てる。
- 4 窃トウの容疑で逮捕された。
- 5 探テイ小説に読みふける。
- 6 テイ王として国を支配する。
- 7 収集したデータを解セキする。
- 8 祝賀会で即セキのスピーチをした。
- 9 悪党を容赦なくコらしめる。
- 10 店のインテリアにコっている。

(七) 次の各文にまちがって使われている同じ読み漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。(10) 2×5

- 1 多彩な技を苦使して人気を集めた小兵力士が長い休場からの再起を誓う。
- 2 落ち着いた雰囲気古民家を喫茶店に改操して陶芸品販売所を併設する。
- 3 郷土の町並みの変遷の跡を写真や古地図でたどる企画展が開宰される。
- 4 外国人のがんなどの患者が高水準の医量を求め来日する例が増えている。
- 5 コンクール優勝者は卓絶した技巧の躍動的演奏を披露し満場を沸かせた。

(八) 次の―線のカタカナを漢字一字と送りがな(ひらがな)に直せ。(10) 2×5

〈例〉問題にコタエル。

答える

- 1 最悪の事態だけはサケル必要がある。
- 2 栄養のカタヨラない食事を心がける。
- 3 司会者に発言をウナガサれた。
- 4 事件の経緯をクワシク報告する。
- 5 海の底に漁網をシズメル。

(九) 次の―線のカタカナを漢字に直せ。(50) 2×25

- 1 ビニール製のトウメイな傘を差す。
- 2 獄舎からシュウジンが脱走を図った。
- 3 小学生がモッキンの練習をしている。
- 4 二人がコウゴにパトロールに当たる。
- 5 福祉の諸問題をホウカツして扱う。

- 6 昔ながらの下町のジョウウチヨが残る。
- 7 王位を奪われ恨みコツズイに入る。
- 8 シュギョク短編集が遺著となった。
- 9 駅前放置自転車をテッキヨする。
- 10 キンキを犯して過酷な制裁を受ける。
- 11 自分の将来をバクセンと考える。
- 12 家業のラクノウを親から引き継ぐ。
- 13 念入りに客間のソウジをした。
- 14 キンリン諸国との友好を深める。
- 15 もめごとのチュウカイを買って出る。
- 16 カガヤかしい成績を残して引退した。
- 17 虚飾にみちたイツワリの生活を送る。
- 18 話す時に髪をかき上げるクセがある。
- 19 十年先をミスえて事業を起こす。
- 20 マタ聞きの話で確かではない。
- 21 焼き上がった陶器をカマから出す。
- 22 臨時収入で家計がウルオウ。
- 23 外見と実質がツリ合っていない。
- 24 オモムキのある庭園に案内された。
- 25 指に刺さったとげをヌク。

(下へつづく)

おわり